

◎ 第146回定例研究会

1月16日(木)

於:静岡県評会議室

## ヨーロッパの社会構造と政党政治

杉村 豪一氏 (常葉大学法学部 講師)

### — 政党システムの全体像 —

#### 目的

現在のヨーロッパ政党政治の全体像を概観し、その中で各国の状況の違いを社会構造的な要因に注目して説明する。

### 社会構造とヨーロッパの政党政治

現在の政党システムは民主政治確立期の社会構造的亀裂(クリーヴィッジ)を反映している。

- ・ 中心文化—従属文化
- ・ 政府—教会 (世俗—宗教)
- ・ 第二次産業—第一次産業 (都市—地方)
- ・ 使用者—労働者

### 政党システムの現在

個人として政治的判断を下す有権者とそこから最大限の支持を引き出そうとする政党との関係性が現在の政党システムを規定している。

### 政党の政策方針

「都市・世俗」的政党は「地方・宗教」的政党よりも政治経済的政策領域を重要視、はっきりした政策方針を提示している。

### まとめ

「都市・世俗—地方・宗教」の軸が現代の政党システムの形を決める。

- ① 政党個々の性質⇒政策方針を決定
- ② 政党配置⇒政党間対立構造に影響
- ③ 社会的特徴⇒政党との関係性を規定
- ④ 「改革」時の状況が異なる

### — 「改革」への影響 —

#### 目的

政党の党派性が「改革」に与える影響を明らかにする。

#### 「改革」の二つの側面

- ① 政策に基づく普遍的な競争は「世俗」「都市」の側で展開する。
- ② 集团的利益に基づく政治は「宗教」「地方」の側に残存する。

### 政府支出について

- ・ 政策領域ごとに党派性の影響は異なる
- ・ 右翼的な政権になると支出が減るとは必ずしも言えない
- ・ 宗教的政権の社会秩序重視の傾向や右翼的政権の市場経済重視の傾向も部分的には見られる

### クライエンテリズム(恩顧主義)について

- ・ 宗教的な政権になるほど政治に対する干渉が増大する。
- ・ 左翼的な政権になっても政治への干渉は増える。
- ・ 左翼的政権では行政組織の積極性も下がる。

### 党派性の「改革」への影響

- ・ 政治経済的な側面で「右派」が「改革」を推進し「左派」が抵抗するという従来の構図は曖昧である。
- ・ 政治過程の健全化という点で「世俗」側の政党は「宗教」側の政党より積極的である。
- ・ 「都市」対「地方」についての党派性は他に比べ限定的である。

\*連絡先: 静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 セキスイハイムビルディング 7F (静岡県評内)

メール [roudouadv@wave.wbs.ne.jp](mailto:roudouadv@wave.wbs.ne.jp) ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>